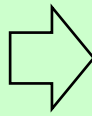


企業からの農業参入で農地の借り入れで規模拡大 ～有限会社 あぐり ～

経営体の概要

事業実施前

平成12年 有限会社あぐり設立



現在：平成30年度

基幹作物：水稻、ばれいしょ、ブロッコリー、レタス、サニーレタス、かぶ 等

経営面積：52ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成12年11月に新たに農業に参入するため、有限会社あぐりを設立している。

国営事業により開発された冬季用水が平成15年度に通水し、年間を通して安定的に確保された用水を有効に活用して、水田畑利用による高収益作物を作付けしており、広範囲にわたる農地を借り入れることで、地域の耕作放棄地発生防止に貢献している。また、ICTを活用した営農による品質安定化の取組や、自社製の堆肥を使用し、無農薬・無化学肥料による安全・安心な農作物を独自のブランドとして販売するなどにより、地域農業の推進に大いに貢献している。

営農改善のポイント

①作物の変化

道前道後平野地区で開発した安定的な用水が供給される有利さを活用して、年間を通して、水稻を中心にレタス、ばれいしょ等の高収益作物を栽培している。

②栽培技術の確立・向上

自社製造の堆肥により環境にやさしい農業を実践している。

また、ICTを活用して水稻について土壌成分、食味値をほ場ごとに面的に把握することで、品質の確保に取り組んでいる。

③流通・販売の工夫

「伊予あぐり米」等独自のブランドを確立し、独自に販路開拓を行うことにより販路を拡大している。

④規模拡大・土地利用調整

地域と協調しながら農地の借地により規模拡大を進め、耕作放棄地発生防止にも役立っている。

国営かんがい排水事業による安定的な用水を活用し、企業の農業参入の愛媛県最初の優良事例となっている。



独自のブランド



トラクター牽引による土壌成分測定 (ICT活用)



自社製造堆肥による環境にやさしい農業実践

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業「道前道後平野地区」
関係市町：愛媛県西条市、松山市、伊予市、東温市、伊予郡松前町、砥部町

受益面積：10,318ha

事業期間：平成元年度～平成25年度

事業目的：用水改良

主要工事：ダム（新設）1カ所、ダム（改修）1カ所
用水路（改修）24km、管水路（新設）2km

位置図（愛媛県）



<局問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(平成30年度調査時点)